

特 集

これからの 産後ケア



法改正後の保健師の役割



2021 年 4 月施行の改正母子保健法により，市町村が出産後 1 年までの母子を対象に産後ケア事業を行うことが努力義務化された。また，少子化社会対策大綱では 2024 年度末までの全国展開が掲げられ，2020 年 8 月には事業のガイドラインが改定されている。産後ケア事業において直接母子に関わるのは助産師であることも多いが，その目的を理解し事業を組み立て継続する保健師の役割は大きい。そこで，法改正の趣旨，ガイドラインの主な改正点等を確認しつつ，産後ケア事業で保健師は何を目指し何を担うのかを改めて考える機会としたい。

- 母子保健法の改正と産後ケア事業ガイドラインの改定から考える保健師の役割
- 産後ケアを通じて保健師は何を目指すのか
ガイドライン改定を踏まえて
- 地域の特性に応じた産後ケア事業と保健師の役割
高浜町の産後デイサービスの取り組み
- 産後ケアに関わる保健師さんへのメッセージ
子ども虐待の取材と支援の経験から言えること